

お知らせ

国民健康保険料

長寿医療保険料
(後期高齢者医療保険料)

保険料の納付方法が変更されます
— 年金天引きから口座振替へ —

保険料の納め忘れがなく、実際に納付していただける人であれば、保険料の支払いを年金天引きから口座振替に変更できるようになります。ただし、申請が必要です。

詳しくは次の窓口へ
▼ 国民健康保険料は 税務課(☎6508)へ。
▼ 長寿医療保険料は 保険医療課(☎6527)へ。

*1月末日までに手続きが完了した人は、4月分の支払いから変更させていただきます。

重度の身体・知的しょうがいのある人に紙おむつ等を支給

平成21年1月1日時点で次の要件をすべて満たし、かつ前1年間に6か月以上在宅で生活した人に、紙おむつ・おむつカバー(5万4千円相当分)を現物で支給します。

- ▶ 1、2級の身体障害者手帳(肢体不自由)または、重度(A1、A2)の療育手帳の交付を受けている人
 - ▶ 満3歳以上65歳未満の人
 - ▶ しょうがいにより常時おむつが必要で、現に使用している人
 - ▶ 平成19年分の所得税が非課税世帯の人
- *施設に入所されている人や、日常生活用具給付等事業で、紙おむつの交付を受けている人は除きます。

【受付期間】 1月5日(月)～30日(金)※土日祝除く
【持ち物】 身体障害者手帳または療育手帳と印鑑

お問合せは、福祉課(☎6518)、浅井支所市民福祉課(☎4352)、びわ支所市民福祉課(☎5253)へ。

紙おむつ代等の助成と理美容サービス

寝たきり等の高齢者のみなさんに気持ちよく過ごしていただくように、次の助成とサービスを実施しています。

- 紙おむつ代などの助成
- 理美容サービス

紙おむつ・おむつカバーと引換ができる助成券(2万7千円分)を交付

理美容サービスがご家庭を訪問し、理美容サービスを実施

【対象】 平成20年7月1日から12月31日までのうち3か月以上在宅で

生活していた所得税非課税世帯の人で、次のいずれかに該当する人

- ▼平成20年7月1日時点で、介護保険法による要介護4、5の認定を受けている人(ただし、紙おむつ代の助成は要介護3を含む)
- ▼平成12年3月未まで高齢者介護激励金の対象であった人
- ▼特別しょうがい者手当受給者
- ▼福祉手当受給者

【受付期間】 1月5日(月)～30日(金) ※土日祝除く

お問合せは、高齢福祉介護課(☎7789)、浅井支所市民福祉課(☎4352)、びわ支所市民福祉課(☎5253)へ。

お元気ですか

“こどもが急病”のときの対処法

— 休日・夜間に救急受診 その前に・・・ —

本来、救急病院は、救急患者さんのためのもので、休日や夜間などに発症したケガ、急激に病気の症状が悪化した場合にご利用いただくものです。しかし、近ごろは「体調のちょっとした変化」や「混雑しないから」と、休日や夜間に「コンビニ感覚」で救急病院を利用される方が増えてきました。



現在、休日・夜間の小児救急診療は、市立長浜病院と長浜赤十字病院が当番制で行っていますが、小児科医に過重な負担がかかっている状況です。小児救急医療体制を維持していくためにも、適正な利用をお願いします。

今回は、お子さんの体調が変化した場合の悩みを、少しでも解消していただくために、市立長浜病院小児科の橋本和幸先生にその対処法を伺いました。

▶小児救急電話相談

休日の夜間に、お子さんのケガや病気で、病院に行った方がよいか迷われたときはご連絡ください。小児科医師がアドバイスします。

#8000 *一般電話プッシュ回線、携帯電話などから
077-524-7856 *一般電話ダイヤル回線などから
【相談日時】 土・日・祝日および年末年始
18時～23時

「75歳以上のみなさんへ」



市立長浜病院
整形外科

杉本正幸先生

転倒して大腿骨頸部(大腿のつけねの部分)を骨折される人が増えています。昨年、110人程度*平均年齢82歳の方が、当院で手術を受けられました。当院では、怪我をされてから2日以内に手術を行

うことを目標とし、手術翌日から歩行練習を始めていますが、患者さんは結果として日常生活動作が大きく制限されることになります。

骨折も予防することが大切です。一つは転倒を予防すること。もう一つは骨粗鬆症の予防です。当院では、昨年11月から、リハビリテーション科(嶋靖子部長)が独立し、転倒予防も含め様々な運動療法が行えるようになりました。また、転倒して骨折した人のわずか10%しか骨粗鬆症の治療を受けていなかったことを受けて、昨年発足した骨粗鬆外来(江藤勤司医師)も毎週水曜日に続けております。実際、最近の骨粗鬆症薬の進歩は目覚ましく、週1回の服用で、ほとんどの人が骨の量が増加してきています。今年には、ひと月に一回飲めば十分と言った薬も出現しそうです。でも油断は禁物。これからの季節、足元には十分にお気をつけください。